

藤沢市制施行70周年記念
NTTファシリティーズ プレゼンツ
「第10回藤沢市30日美術館」開催について

1. 目的

「藤沢市30日美術館」は、ささやかであっても充実した美術展を開催することで、活気とうるおいのある「芸術文化のまち」をめざすことを目的にスタートした、期間限定の美術館です。

若手・故人にかかわらず、この湘南を拠点（あるいは出発点）として創作活動に携わる作家の作品を紹介し、鑑賞と交流の場を提供するものです。

開催にあたっては、専門家による実行委員会を構成し、藤沢市教育委員会事務局との協議の上、企画の検討や作家の選出を行っています。

2. 会期

2011年2月8日（火）～3月13日（日）ただし、月曜日休館

3. 会場

藤沢市民ギャラリー常設展示室

4. 主催

藤沢市教育委員会・第10回藤沢市30日美術館実行委員会

5. 内容

土器・音・空間 —時空を超えたコラボレーション—

縄文・弥生の土器のかたちや装飾の美しさは、長い日本美術の歴史の中でも突出しています。それは考古学的見地からだけでなく、美術としても非常に重要な意味を持っており、ジャンルを越えて現代のさまざまな芸術家たちに大きな影響を与えてきました。

土器はどのようにしてつくられたかは未だに謎の部分が多いものの、どれも本当に心を込めて丁寧につくられています。中には時代が一万年以上もさかのぼるものもあり、太古の人々の美意識が現代の我々の心に相通ずるものがあることに驚かされもします。

第10回目を迎える藤沢市30日美術館では、市制施行70周年を記念して、日本美術の原点ともいえる、縄文・弥生土器を展示します。力強く生命力溢れる「縄文」に対し、繊細で端麗な「弥生」—そのどちらも魅力でいっぱいです。出品する土器はすべて藤沢で出土したものです。

今回、その原始の美と現代の音楽との融合を試みます。世界を舞台に活躍する地元湘南の若手作曲家、武智由香がこの空間に呼応する音の造形を施します。本展のために創作された音のインスタレーションと、太古に生み出された土器との時空を超えたコラボレーションをお楽しみ下さい。

6. 入場料 無 料

7. 事務局

藤沢市教育委員会生涯学習部 文化推進課